

千綿っ子だより

ちからを合わせて
わらい声あふれる
たのしい学校



揃える

5月も中旬を過ぎました。朝から元気に登校し、運動場でひと遊びした子どもたちは、時間を守って教室に戻ります。

その背中を見た後、下駄箱をのぞいてみると、かかとの揃った靴が凛とした面持ちで鎮座しています。

右の写真は6年生の下駄箱の様子です。さすが最高学年です。見事に揃っていて、見ていてとても気持ちがいいものです。

ほんの数秒ですが、急いでいる時は、このひと手間が面倒です。しかも、トイレのスリッパとは違って、並べなくても迷惑をかけるわけではありません。

では、何のために揃えるのでしょうか。それは、落ち着いた学校生活を送るため、自分を客観的に見つめるためです。つい目の前の楽しいことに夢中になり、周りのことが見えなくなっている自分を落ち着かせ、冷静な行動に導きます。わずか数秒の動作だけで。

私は、この行動を「1秒かかと」と呼びます。浮足立つことなく、落ち着いた学びと暮らしをつくる、この「1秒かかと」を6年生の姿を手本に広げていきます。



千綿小学校は「コミュニティースクール」です

コミュニティースクールとは？

学校運営協議会を設置した学校のことです。学校運営協議会は、校長の学校運営の基本方針を承認したり、意見を述べたりする役割を有しており、学校運営に必要な支援に関する協議を行います。



去る5月10日、東彼杵町3校が一堂に会し、学校運営協議会が開催されました。その中で、富永裕子会長様をはじめ10名の委員の皆様にご委嘱状が手交されました。令和6年度は、学校の教職員4名を含めて、14名で学校運営協議会を開催してまいります。

学校経営方針説明では、子供たちが本物にふれることの大切さについてお話させていただきました。地域の魅力ある人とかかわりを通して、学校教育目標「千綿を愛し、心豊かで活気に満ち、主体性のある児童の育成」を目指すこと、そのための教育活動充実に向けて御理解と御協力をお願いしました。

あらためて、すべての子どもたちを大人が総がかりで育て導く、あたたかい千綿の風を感じることができました。



めざせ！長崎トップ10

体育担当の田中先生のかげ声のもと、全校児童が連続キャッチボールに挑戦しました。3分間で何回キャッチボールができるかを競うものですが、「フィットネスチャレンジ長崎」の取組の一環です。仲間とかかわりながら運動する楽しさや達成感を味わい、体力の向上を図っています。